

*Civilian
Defense Association*

財團法人大日本警防協會寄附行為

財團法人大日本警防協會

防空總本部

財團法人大日本警防協會附行為

昭和四年九月七日內務省東京芝區五番地
同十八年三月二十一日改正議決同十八年五月十九日施行

第一章 總則

第一條 本會ハ財團法人大日本警防協會ト稱ス

第二條 本會ハ事務所ヲ東京市芝區西久保

明舟町十八番地ニ置ク

第三條 本會ハ皇族ヲ總裁ニ奉戴ス

第二章 目的及事業

第四條 本會ハ警防思想ヲ普及徹底シ

警防活動ヲ改善發達シ圖リ以テ警防ヲ完

璧ニ齊興スルヲ目的トス

第五條 本會ハ前條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業行フ

一 警防ニ関スル調査研究

二 警防思想ノ普及徹底

防空總本部

三 雜誌圖書ノ刊行頒布

四 警防團員(警防團令第十八條ノ團體員

ヲ含ム以下ニ同シ)及警防關係者ノ知識

技能ノ向上

五 警防團員又ハ其ノ遺族ニ對スル弔慰救済

六 警防團(警防團令第十八條ノ團體ヲ含ム以下

ニ同シ)並ニ警防團員又ハ警防ニ関レ特ニ功

績顯著ナルモノヲ表彰

七 其他本會ノ目的ヲ達スル爲必要ナル事項

第三章 會員

第六條 本會ニ左ノ會員ヲ置ク

一 名譽會員 學識名望アル者及本會ノ爲

ニ功勞アル者

二 特別會員 本會ノ事業ヲ發展其ノ功

三、賛助會員

續顯著ナル者
本會ノ趣旨ヲ賛助シ金品ヲ寄贈
シタル者

四、正會員 警防團員

第七條 名譽會員、特別會員及賛助會員ハ

理事會ニ於テ之ヲ推薦ス

第四章 役員、顧問及職員

第八條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一、會長

二、副會長

三、理事

四、監事

五、常議員

六、代議員

防空總本部

第九條 會長ハ内務大臣ノ職ニ在ル者ヲ推戴ス

會長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

第十條 副會長ハ二名トシ理事會中ヨリ會長之ヲ囑託ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ其ノ職

務ヲ代理ス

第十一條 理事ハ二十名以内トス

會長ハ理事トス其ノ他、理事ハ常議員中ヨリ

會長之ヲ囑託ス

第十二條 理事會中三名ヲ常務理事トシ會長之ヲ囑託ス

常務理事ハ會長ノ指揮ニ承ケ事務ヲ管理シ

會長及副會長共ニ事故アルトキハ其ノ職務

ヲ代理ス

第十三條 監事ハ三名以内トシ名望アル者ニ付會長之ヲ

囑託ス

第十四條 常議員ハ左ニ掲クル者ニ付會長之ヲ囑託ス

一 第十九條第一項第一號、代議員ニ於テ互選シタル者

ニ 學識經驗ヲ有スル者

三 内務次官、内務省警務局長、内務省防空局長

警備局警務課長及防空局指導課長、職ニ在ル者

前項第一號ニ規定スル互選ハ別表ニ定ムル互選区

毎ニ各別之ヲ行フ各互選区ニ於ケル常議員ノ定員

ハ互選者タル代議員數十名迄ノモニ在リテハ一名トシ

之ヲ超ユルモノニ在リテハ代議員數十名又ハ其ノ端數毎

ニ一名トス

第十五條 代議員ハ左ニ掲クル者ニ付會長之ヲ囑託ス

一 警防團長(警防團令第十八條、團體長ヲ含ム

以下之ニ同シ)、職ニ在ル者ニ付支部長(朝鮮ニ在リ

テハ地方部長以下之ニ同シ)、推薦シタル者

防空總本部

二 廳府縣、樺太廳、立川、東州、廳ニ在リテハ、警備

防主管課長(警備ニ官制及特設消防署規程ニ依リ消防

臺灣總督府及朝鮮總督府ニ在リテハ其ノ課長ノ任、職ニ在ル者)

前項第一號、代議員ノ各支部(朝鮮ニ在リテハ

地方部以下之ニ同シ)ニ於ケル定員ハ其ノ選任ノ

トキノ屬スル年度ニ於ケル其ノ支部分擔金力支

部分擔金平均額迄ノモニ在リテハ一名トシ之ヲ

超ユルモノニ在リテハ平均額又ハ其ノ端數毎ニ

一名トス

但シ三名ヲ超ユルニ付得サルモノリス

前項ノ定員ハ任期満了ニ因リ改任ノ場合ニ依

サレハ之ヲ變更セス

第十六條 役員ノ任期ハ二年トス但シ官職ニ在リテ改

以テ役員タル者、任期ハ其ノ在職期間ノ一警防團長
タル故ヲ以テ役員ニ暨任セラレタル者其ノ任期中團
長ヲ辭任シタルトキハ其ノ職ヲ失フモリス補缺ニ依リ就
任シタル役員ノ任期ハ前任者ト殘任期向トス
役員ハ任期満了後ト雖後任者ノ就任ニ至ル迄ノ
間當ホ其ノ職務ヲ行フ

第十七條 本會ニ顧問並技術顧問ヲ置ク
顧問、技術顧問ハ會長之ヲ囑託ス

本會會長及副會長タリシ者ハ本會ノ顧問トシテ
顧問ハ會長、諮問ニ應ジ意見ヲ申申ス
技術顧問ハ本會ノ調査研究ヲ指導スル若ハ會長ノ
諮問ニ應ジ技術上ノ意見ヲ申申ス

第十八條 本會ニ幹事ヲ置キ會長之ヲ命免ス
幹事ハ常務理事、指揮ヲ承ケ事務ヲ掌理ス
防空總本部

第十九條 本會ニ主事、技師、書記、技士ヲ置キ
會長之ヲ命免ス
主事、技師、書記、技士ハ幹事ヲ指揮ヲ承ケ庶務
ニ従フ

第五章 會議

第二十條 代議員會ハ豫算其他ノ重要ナル事項ヲ
議決ス

代議員

第二十一條 常議員會ハ在ノ事項ヲ議決ス

- 一 代議員會ニ提出スル議案
- 二 代議員會ノ議決ヲ要スルモノニシテ臨時急務
要シ會長ニ於テ之ヲ召集スルノ暇ナシト認メタル事項
- 三 代議員會ノ議決ヲ要スルモノニシテ其ノ委任ヲ
受ケタル事項

四、其他會長ニ於テ必要ト認メタル事項、

第二十二條 理事會ハ尤、事項ヲ議決ス

一、常議員會、議決ニ要スル事項ニシテ臨時急
施ヲ要シ會長ニ於テ之ヲ召集スルノ暇ナシト認メタル事
項

二、其、他會長ニ於テ必要ト認メタル事項

前項ノ規定ニ依ル處置ニ付テハ會長ハ次回ノ常議
員會ニ之ヲ報告スヘシ

第二十三條 代議員會、常議員會及理事會ハ會
長ニ之ヲ召集ス

會議、議長ハ會長之ニ在ル

第二十四條 會議、議事ハ出席者、過半數ニ依リ
之ヲ決シ可否同數ナルトキハ議長、決之ル所ニ依ル

第二十五條 會議ヲ召集スヘキ場合ニ於テ會長ハ時
防空總本部

宣ニ依リ書面ヲ以テ意見ヲ徵シ會議ニ代フル事ヲ得

第六章 資産及會計

第二十六條 本會、資産ハ別紙資産目錄、動産及不動
産トス

前項、資産中現金ハ之ヲ本會、基金トス

基金ハ之ヲ處分スルコトヲ得ス但シ已ムコト得ザル事由ニ
依リ代議員會、議決ヲ經タルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十七條 本會、資産及收入中現金ハ郵便貯金
銀行預金若ハ信託預金トシ又ハ國庫證券ノ

若ハ確實ナル有價證券ニ替テ會長ニ之ヲ管理ス
但シ會長必要ト認メタルトキハ支部長ニ其ノ一部ヲ

保管セシムルコトヲ得

第二十八條 支部長ニ於テ保管スル本會、資産ノ保管
方法ハ別ニ之ヲ定ム

第二十九條 本會ノ事業ハ毎年度豫算ヲ以テ之ヲ執行ス
第三十條 本會ノ經費ハ尤、收入ヲ以テ之ニ充ツ

- 一 沒收財産及事業ヨリ生ズル收入
- 二 補助金又ハ公私ノ寄贈ニ係ル動産、不動産
- 三 支部外擔金
- 四 其他雜收入

前項第二號ノ内公私ノ寄贈ニ係ル動産、不動産中
目的ヲ定メテ寄贈セラレタルモノハ其ノ目的ノ範圍ニ於テ
之ヲ使用スルモノトス

第三十一條 支部外擔金ノ分擔割合ハ代議員會ノ議決
ヲ經テ之ヲ定ム

第三十二條 本會ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始メ
翌年三月三十一日終ル

第三十三條 本會ノ決算ハ代議員會ノ承認ヲ經ルモノトス

第七章 支部

第三十四條 本會ハ北海道、府縣、樺太、臺灣及南

東州ニ支部ヲ朝鮮ニ地方部ヲ置ク

第三十五條 支部ニ支部長ヲ置ク地方長官(東東府ニ在リ)

樺太廳長官、臺灣總督府警務局長及南東

州廳長官ノ職ニ在ル者ニ對シ會長之ヲ囑託ス

朝鮮地方部ニ地方部長ヲ置キ朝鮮總督府政務總

監ノ職ニ在ル者ニ對シ會長之ヲ囑託ス

第三十六條 支部ニ副支部長ヲ置ク尤ニ掲クル者ニ對シ會長

長之ヲ囑託ス

一 警防團長ノ職ニ在ル者ニ付支部長ノ推薦ニ在ル者一名

二 廳府縣、樺太廳警務局長(警防團長ニ在リハ)、臺

灣總督府警務局長及南東州ノ

警防團長ノ職ニ在ル者朝鮮地方部ニ地方部副長

朝鮮總督府警務局長ノ職ニ在ル者ニ對シ
會長之ヲ囑託ス副支部長(朝鮮ニ在リテハ地方新
長)ハ支部長ノ命ヲ承ケテ支部ノ事務ヲ掌理ス

第三十七條 支部長副支部長ノ任期ハ第十六條ノ規定ヲ
準用ス

第三十八條 支部ニ役員及職員ヲ置ク得
前項役員及職員ノ選任職權限並任期ニ關スル
規定ハ支部長ニ於テ之ヲ定ム

第三十九條 本署附行為ニ特別ノ規定アルモノ、外支部ニ
關レ必要ナル規定ハ細則ヲ以テ之ヲ定ム

第八 章 補則

第四十條 本署附行為ハ代議員會ノ議決ヲ經テ主
務大臣ノ認可ヲ受ケルニ由ラレハ之ヲ變更スルコト得ス
第四十一條 本署附行為施行ノ爲ニ必要ナル細則ハ章

防空總本部

議員會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム其ノ變更ニ付亦同シ

附則

改正本署附行為第五條第五號及第六條第
四號ノ規定ハ昭和十四年四月一日ヨリ適用ス

改正本署附行為施行ノ際現ニ本會理事、常
議員、代議員タル者、中從前消防組頭タルノ

故ヲ以テ選任セラレタル者引續キ警防團長ニ就
任シタルトキハ從前囑託セラレタル相當役員ニ囑託

セラレタルモノト着做ス但シ其ノ任期ハ改正本署附
行為ニ基キ新ナル役員ノ囑託アル迄リス

改正本署附行為施行ノ際現ニ副支部長タル者ニシテ
消防組頭タル者以テ推薦セラレタル者亦前項ニ同シ

改正本署附行為ニ於テ警防團、警防團員ト稱スル
ハ朝鮮、臺灣、樺太ニ於テハ各之ニ相當スル團體員ト

(別表)

| | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|
| 北海道 | 第一區 | 宮城縣 | 第二區 | 東京府 | 第三區 | 岐阜縣 |
| 青森縣 | 宮城縣 | 岩手縣 | 千葉縣 | 神奈川縣 | 靜岡縣 | 愛知縣 |
| 岩手縣 | 秋田縣 | 福島縣 | 埼玉縣 | 群馬縣 | 富山縣 | 長野縣 |
| 秋田縣 | 山形縣 | 山形縣 | 栃木縣 | 茨城縣 | 新潟縣 | 山梨縣 |
| 福島縣 | 榎本縣 | 新潟縣 | 山梨縣 | | | |
| 山形縣 | | | | | | |
| 榎本縣 | | | | | | |

防空總本部

| | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|------|------|
| 福井縣 | 第四區 | 三重縣 | 第五區 | 山口縣 | 第六區 | 福岡縣 |
| 石川縣 | 滋賀縣 | 滋賀縣 | 廣島縣 | 廣島縣 | 佐賀縣 | 佐賀縣 |
| 兵庫縣 | 京都府 | 奈良縣 | 岡山縣 | 岡山縣 | 熊本縣 | 熊本縣 |
| 和歌山縣 | 大阪府 | 京都府 | 田山縣 | 田山縣 | 長崎縣 | 長崎縣 |
| 福井縣 | | | 鳥取縣 | 鳥取縣 | 大分縣 | 大分縣 |
| | | | | | 宮崎縣 | 宮崎縣 |
| | | | | | 鹿兒島縣 | 鹿兒島縣 |
| | | | | | 香川縣 | 香川縣 |
| | | | | | 德島縣 | 德島縣 |
| | | | | | 高知縣 | 高知縣 |
| | | | | | 愛媛縣 | 愛媛縣 |
| | | | | | 臺 | 臺 |
| | | | | | 南 | 南 |
| | | | | | 東 | 東 |
| | | | | | 州 | 州 |

第七區 朝鮮

財團法人大日本警防協會寄附行為施行細則

第一條 財團法人大日本警防協會寄附行為（以下単ニ寄附行為ト稱ス）第五條第三號、雜誌ハ毎月發行シ各警防團（警防團令第十八條、團體ヲ含ム以下之旨）ニ配布ス

第二條 寄附行為第五條第五號、弔慰金、救済金ハ左ノ區分ニ依ル

- 一、弔慰金 職務、為死亡シタル者ニ對シ一時金千圓以内ヲ贈與ス
- 二、瘡疾見舞金 職務、為不具瘡疾ト為リタル者ニ對シ一時金五百圓以内ヲ贈與ス
- 三、傷疾見舞金 職務、為傷疾ヲ受ケ留療久シキニ涉リタル者ニ對シ一時金貳百圓以内ヲ贈與ス

第三條 前項第一號、弔慰金ヲ受領スヘキ者及其順序左ノ如シ

防空總本部

第一 配偶者

第二 直系卑屬

第三 直系尊屬

第四 主

第五 兄弟姊妹

前項第二號及第五號ニ該當スル者教人アルトキ其順序ニ付テハ民法第九百七十條ノ規定ニ準用シ第三號ニ該當スル者教人アルトキ其順序ニ付テハ民法第九百八十四條ノ規定ニ準用ス

第一項第二號、第三號及第五號ニ該當スル者ハ警防團員（警防團令第十八條、團體員ヲ含ム以下之旨）死亡、時引キ續キ其一家ニ在ルモノヲ要ス但シ警防團員死亡之後出生シタル嫡出子ハ警防團員死亡ノ時引續キ其一家ニ在ルモノト看做ス

第四條 寄附行為第五條第六條、表彰ハ尤、區分

ニ依ル

一、表彰旗、功績アル警防團ニ贈與ス

二、功績章、警防ノ改善發達ニ特段ノ功績ヲ積

ミタル警防團員ニ贈與ス

三、功勞章、警防業務ニ付功勞拔群一般ノ電鑑

タルハ警防團員ニ贈與ス

功績章又ハ功勞章ハ警防ニ固シ特ニ功績顯著

ナル者ニ對シ贈與スルコトヲ得

第五條 支部長（朝鮮ヨリハ地方部長以下ニ同シ）ハ平慰

金、痲疾見舞金、若ハ傷疾見舞金ノ贈與ヲ為シ

又ハ表彰ヲ為スル必要アリト認めルトキハ之ヲ會長ニ具申スル

第六條 寄附行為第十四條ノ規定ニ依ル互選ノ間ニ

干渉ハ其ノ都度會之ニ定ム

防務總本部

第七條 定例代議員會ハ毎年一回之ヲ開ク

第八條 理事會及常議員會ハ必要ニ應ジ隨時之

ヲ開ク

第九條 會長ハ寄附行為第三十一條ノ規定ニ依ル支

部分撥金ノ割合決定シタルトキハ其ノ金額ヲ支部

長ニ通知ス

支部長ハ支部分撥金ヲ毎年五月末日迄ニ會長ニ送付スル

第十條 豫算ハ經常臨時ノ二部ニ令テ各部ヲ款

項目ニ區分ス款項ヲ流用セシムルトキハ常議員會

ノ議決ヲ要スルモノトス

第十一條 豫備費ハ豫算外ニ支出若ハ豫算超過ノ

支出ニ充テスルモノトス

第十二條 財産目錄ハ毎年度其ノ年度ノ終ニ於テ

之ヲ作り定例代議員會ニ提出スルモノトス

附則

第十三條 本則之規定スルモノ、外支部之旨ニ必要ナル事項ハ支部長之ヲ定ム

支部長支部之旨ニ規定ヲ設ケタルトキハ之ヲ當會長ニ報告スルニ

財團法人大日本警防協會弔慰救済金給與規程

第一條

財團法人大日本警防協會弔慰救済金給與規程ニ依リ

第五條

弔慰救済金ノ給與ハ本規程ニ依リ

第二條

細則第二條第一號ノ職務ヲ爲スル者

防空總本部

弔慰救済金ノ給與ハ本規程ニ依リ

一、災害現場又ハ之ニ準ズベキ場所ニ於テ危急ノ豫

想ヲ得ルニ拘テ之ヲ冒シテ其ノ職務ヲ執行シ且場合

七〇〇圓以上 一、〇〇〇圓以下

二、災害現場又ハ之ニ準ズベキ場所ニ於テ職務執行ノ場合

五〇〇圓以上 七〇〇圓以下

三、災害現場又ハ之ニ準ズベキ場所ニ職務執行ノ爲ニ赴

キ又ハ赴カントシ事故又ハ病氣ニ依ル場合

二〇〇圓以上 五〇〇圓以下

四、警防訓練等ニ際スルモノニシテ自己ノ重大ナル過失

ニ依ラザル場合 一〇〇圓以上 四〇〇圓以下

第三條 細則第二條第二號ノ痲疾者ニ對スル見舞

金、給與ハ左ノ區分ニ依リ

一、〇〇圓以上 四〇〇圓以下

二、〇〇圓以上 五〇〇圓以下

三、〇〇圓以上 七〇〇圓以下

四、〇〇圓以上 一、〇〇〇圓以下

五、〇〇圓以上 一、五〇〇圓以下

一、一眼ノ視力が視標の二メートル以上ニテハ辨別
 シ得ザルモノ、両耳ノ聽力が耳鼓ニ接セザレバ大
 聲ヲ解シ得ザルモノ、咀嚼對又ハ言語ノ機能ニ大ニ妨
 アルモノ、一肢以上(腕關節若ハ足關節以上)ヲ失ヒタルモノ
 二、其他前二條ニ準ズル精神的又ハ肉體的不具障
 害ヲ受ケタルモノ

(第一條一、二階、障害 二〇〇圓以上 四〇〇圓以下
 第二條三、四階、障害 一〇〇圓以上 三〇〇圓以下)

第四條 細則第二條第三階ノ傷疾見舞金、給與ハ

| | |
|------------------|---------------------|
| 豫算ノ範圍内ニ於テ左ノ區別ニ依ル | |
| 醫療十日以上 | (第一條一、二階、障害) 一〇〇圓以下 |
| 醫療三十日以上 | (第二條一、二階、障害) 一〇〇圓以下 |
| 醫療六十日以上 | (第三條一、二階、障害) 一〇〇圓以下 |
| 醫療百人以上 | (第四條一、二階、障害) 一〇〇圓以下 |
| | (第五條一、二階、障害) 一〇〇圓以下 |
| | (第六條一、二階、障害) 一〇〇圓以下 |
| | (第七條一、二階、障害) 一〇〇圓以下 |
| | (第八條一、二階、障害) 一〇〇圓以下 |
| | (第九條一、二階、障害) 一〇〇圓以下 |
| | (第十條一、二階、障害) 一〇〇圓以下 |

防空總本部

醫療三百日以上 (第一條一、二階、障害) 二〇〇圓以下
 前項ノ醫療日數ニハ醫師ノ指示ニ依ル 柔道、體道、復術
 治療若ハ之ニ準ズルモノヲ包含ス

第五條 第二條乃至第四條ニ依ル給與ノ金額ハ勤績

年數ニ依リ幾分斟酌スルコトヲ得

第六條 細則第三條ノ親族中ニハ法定ノ届出ナキモ

其ノ寄與アル者ハ之ヲ包含スルモノトス

第七條 弔慰金見舞金贈與ノ具中ニハ死亡又ハ

不具瘡疾若ハ傷害ノ原因トナリタル事實實ノ發
 生シタル場所、日時、本人ノ活動狀況及本人ノ履
 歴等ヲ詳記スルニ

弔慰金ニ在リテハ前項ノ外贈與金受領者ノ

氏名、年令及死亡者トシテ續柄ヲ記載スルニ

第八條 前條ノ外弔慰金贈與具中ニハ死亡診斷

書又ハ死體検査書及戸籍謄本ヲ見舞金贈與
具申ニ機能障害ノ程度又ハ傷害ノ程度ヲ詳
記シタル醫師ノ診断書ヲ添付スベシ

防空従事者扶助令又ハ戦時災害保護法施行令
ニ依リ扶助金若ハ給與金ヲ給與セラルル場合ニ於ケル警
防團員又ハ其ノ遺族ニ對スル本會弔慰金救済金給
與ニ關スル規程

第一條 警防團員職務カ、爲死亡ニ至ルハ不具瘡疾
ト爲リ又ハ傷疾ヲ受ケ防空従事者扶助令又ハ

防空總本部

戦時災害保護法施行令ニ依リ國家又ハ公共團體
ヨリ扶助金若ハ給與金ヲ給與セラルル場合ハ本會ヨリ
給與スル弔慰金救済金ハ豫算ノ範圍内ニ於テ本
規程ニ依リ支給ス

第二條 前條ノ弔慰救済金ハ左ノ場合分ケ左ノ區分ニ
依リ給與ス

一 國家弔慰金

一 國家又ハ公共團體ヨリ給與セラルル扶助金又ハ給
與金ノ金額が本會弔慰救済規程(以下單ニ規
程ト稱ス)第二條ニ記載スル各場合ニ照シ本會ヨリ
給與スベカリシ金額ニ達セザルキハ其ノ不足額ニ金
百圓以内ヲ加算シヨリ額

二 國家又ハ公共團體ヨリ給與セラルル扶助金又ハ
給與金ノ金額が規程第二條ニ記載スル各場合

ニ照シ本會ヨリ給出スベカリシ金額ト同額又ハ其ノ
以上ノ金額ナルトキハ金百圓以内
廢疾見舞金

一 國家又ハ公共團體ヨリ給出セラルル扶助金又ハ給
出金ノ金額ガ規程第三條ニ記載スル各場合ニ照シ
本會ヨリ給出スベカリシ金額ニ達セザルトキハ其ノ不足
額ニ金五拾圓以内ヲ加算シタル金額

二 國家又ハ公共團體ヨリ給出セラルル扶助金又ハ
給出金ノ金額ガ規程第三條ニ記載スル各場合ニ照
シ本會ヨリ給出スベカリシ金額ト同額又ハ其ノ以上ノ
金額ナルトキハ金五拾圓以内

傷疾見舞金

一 國家又ハ公共團體ヨリ給出セラルル扶助金又ハ給
出金ノ金額ガ規程第四條ニ記載スル各場合ニ照シ

防空總本部

本會ヨリ給出スベカリシ金額ニ達セザルトキハ其ノ不足額

第三條 本會平慰救済金給出規程第五條乃至

第八條規定ハ本規程ニ準用ス
第四條 本規程ニ依ル平慰金、廢疾見舞金、傷疾

見舞金、具申書ニ「防空従事者扶助令又ハ
戰時災害保護法施行令ニ依リ給出セラルル扶助
金又ハ給出金額ヲ明記スベシ

附則

本規程ハ防空従事者扶助令ニ關スルモノニ付テハ
昭和十六年十二月二十日ニ戰時災害保護法施行令ニ
關スルモノニ付テハ昭和十七年四月三十日ニ各則及シテ効
力ヲ有ス

財団法人大日本警防協會表彰規程

第一條 財團法人大日本警防協會寄附行為第五條第六條及同施行細則(以上單ニ細則ト稱ス)第四條ノ表彰ハ本規程ニ依ル

第二條 細則第四條第一項第一號ノ表彰旗ハ左ニ掲グル警防團ニ對シ之ヲ贈與ス

一、規律嚴肅ニシテ技能熟達シ且各般ノ施設充實シ平素能ク警防ノ使命達成ニ努メ其ノ成績拔群一般ノ龜鑑タルモノ

二、警防ノ現場ニ於テ團トシテ功勞拔群ノ注動ヲ爲シ以テ一般ノ龜鑑タルモノ

第三條 細則第四條第一項第二號ノ功績章ハ左ニ掲グル警防團員ニ對シ之ヲ贈與ス

一、其ノ地方ノ警防ニ劃期的刷新ヲ加ヘ地方ノ名望ヲ一身ニ受クルモノ

二、永年ニ亘リ勤務技能熟達且平素能ク率先垂竹軋シテ警防ノ使命ニ盡瘁シ其ノ功績顯著ナルモノ

第四條 細則第四條第一項第三號ノ功勞章ハ左ニ掲グル警防團員ニ之ヲ贈與ス

一、警防ノ現場ニ於テ危險ヲ冒シテ功勞拔群ノ活動ヲ爲シ以テ一般ノ龜鑑タルモノ

第五條 細則第四條第二項ノ功績章又ハ功勞章ハ左ニ掲グル者ニ對シ之ヲ贈與ス

一、警防團員以外ノ者ニシテ前二條ニ相當スル功績功勞アルモノ

第六條 表彰旗及竿頭綬並功績章及功勞章ノ様式ハ別ニ之ヲ定ム

財団法人大日本警防協會員推薦規程

第一條 本會寄附行為第六條ノ規定ニ依ル名譽會員、特別會員、贊助會員ハ左ノ各號ニ掲グル者ニ付理事會ニ於テ之ヲ推薦ス

(一) 名譽會員

イ、學識名望アル者
ロ、警防上ノ功勞ニ依リ叙勲、敘位又ハ賜盃ノ思賞ニ浴シタル者ニシテ正會員ニアラザル者
ハ、本會理事又ハ監事ノ職ニ在リタル者ニシテ正會員ニアラザル者

ニ、其ノ他本會ノ為ニ功勞アル者

(二) 特別會員

イ、本會常議員ノ職ニ在リタル者ニシテ正會員ニアラザル者

防空總本部

日本會寄附行為施行細則第四條ノ功績章又ハ功勞章ヲ受有シ正會員ニアラザル者

ハ、其ノ他本會事業ヲ翼賛シ其ノ功績顯著ナル者

(三) 贊助會員

イ、本會ニ對シ金百圓以上ノ金品ヲ寄贈シタル者
ロ、其ノ他本會ノ趣旨ヲ贊助シ功績アル者

第二條 前條第一號及第二號ノ會員ニ推薦シタルト

キハ別ニ定ムル會員章ヲ贈呈ス

前項ノ會員ハ之ヲ會員台帳ニ登録シ本會ニ永久保存スルモノトス

第三條 本會若ハ支部ニ於ケル祝典其ノ他諸行事執行ノ際ハ時宜ニ依リ各種會員ニ案内ヲ爲シ相宜ノ待遇ヲ爲スモノトス

第四條 支部長ハ第一條各號ノ會員ニ該當スル者アル

トギハ之ガ推薦方ニ付本會ニ具申スルモノトス

財團法人大日本警防協會支部資産管理規程

第一條 財團法人大日本警防協會支部ノ資産ノ管理ハ本規程ニ依リ之ヲ行フ

第二條 本會ノ資産ニシテ左ニ掲クルモノハ支部ニ於テ之ヲ管理スルモノトス

- 一、財團法人大日本警防協會寄附行為第二十七條ノ規定ニ依リ會長ニ於テ支部長ニ保管ヲ命シタル資産
 - ニ、補助金
 - 三、支部ノ地域ヲ限り目的ヲ定メテ寄贈セラレタル公私ノ動産不動産
 - 四、支部ノ事業及其ノ管理財産ヨリ生スル收入
- 第三條 支部ノ會計ハ特別會計トス

防空總本部

第四條 支部ニ於テ管理スル資産及收入中現金ハ郵便貯金、銀行預金若ハ信託預金トシテ又ハ國庫證券若ハ確實ナル有價證券ニ替ヘ其ノ他確實ナル方法ニ依リ支部長之ヲ管理ス

第五條 支部ノ事業ハ毎年度豫算ヲ以テ執行ス豫算及決算ハ會長ノ承認ヲ受クルモノトス

第六條 支部ノ經費ハ支部ノ管理財産ニ依リ之ヲ支辨ス

第七條 支部ハ毎年度末現在ニ依リ財産目録ヲ調製シ之ヲ備ヘ置クモノトス

前項ノ財産目録ハ調製ノ都度會長ニ報告スルモノトス

第八條 本規定ニ定ムルモノノ外必要ナル規定ハ支部長之ヲ定メ會長ニ報告スルモノトス